

活動の原点回帰（活性化・自走化・定着化）による 省エネ革新

（工場）2021年度産構審WG報告

令和2年度省エネ大賞
資源エネルギー庁長官賞
パナソニック(株)アプライアンス社
キッチン空間事業部
加東工場

✓ 省エネ活動の仕組みがマンネリ化する中、省エネ推進体制の一新と現場に寄り添った工場全体活動によりPDCAを習慣化し、省エネ革新を実現

- ①体制再構築 : 工場長をトップに責任者・事務局・メンバーの役割と活動を明確化
- ②委員会の活性化 : 工場全体活動として共通思想で省エネ活動を展開
 - 進捗は委員会の定期開催で共有しPDCAを習慣化
 - ⇒これにより自走化・定着化を実現
- ③暗黙知の形式知化 : 熟練者の暗黙知を形式知化し、省エネ活動の標準化を推進
 - 人材不足やノウハウ継承課題への対策として、全社に展開

省エネ取組みの思想

■ エネロス思想（省エネ診断）

工場巡回（ウォークスルー）で課題抽出

工場巡回


省エネ着眼点（八つ道具）

1: 止める	5: 拾う
2: 直す	6: 逃がさない
3: 停める	7: 変える
4: 下げる	8: 定着化

推進メンバー全員で課題抽出⇒30項目

■ イタコナ思想（原単位分析）

メタゲジの活用で現状分析、課題抽出



データ分析⇒現場へ課題フィードバック

当該事例の効果

事業所全体の
エネルギー削減量

160kL/年
(▲4.6%)